

令和3年度は、ホストタウン等の官民連携横断的な組織を地域SCに発展させるため、関係者合意形成や基本計画の策定等の活動を支援する。（設立支援）  
地方公共団体、スポーツ団体、民間企業（観光産業、スポーツ産業）等が一体となり、地域活性化に取り組む組織である「地域スポーツコミッション」等が行う、「長期継続的な人的交流を図るスポーツ合宿・キャンプ誘致」「通期・通年型のスポーツアクティビティ創出」等の活動に対し引き続き支援を行い、スポーツによる持続的なまちづくり・地域活性化の促進を図るだけでなく、コロナ禍における活動再開、新たな事業計画の策定、自走化に向けた経営体制強化を図る積極的な活動の支援を図る。（活動支援）

## ① 設立支援事業 採択事業一覧（6件）

都道府県 市区町村	支援内容
新潟県村上市、山梨県韮崎市、愛知県名古屋市、大阪府、熊本県水俣市、佐賀県武雄市	地域スポーツコミッションの設立に向けた、幅広い関係者の合意形成、設立準備のための会議、基本計画の策定検討、シンポジウム開催等の取組に対し、支援を実施した。

## ② 活動支援事業 採択事業一覧（13件）

都道府県 市区町村	団体名 ※下段：主な参画団体	事業内容・目的
北海道 壮瞥町	<b>そうべつアウトドアネットワーク</b> 特定非営利活動法人そうべつ地遊スポーツクラブ（町有6施設指定管理者）体育協会有限会社オロフレリゾート（町有スキー場指定管理者）YFC壮瞥（若手農業者）など22名	【取組内容】 そうべつアウトドアネットワークによる地域活性化の取組  【事業目的】 アウトドアスポーツ・アクティビティの普及や推進に向けた体験会、モニターツアー、スポーツイベントの開催及びスポーツツーリズム、アドベンチャートラベル推進に向けた調査研究を目的とする。
北海道 美瑛町	<b>美瑛町</b> NPO法人美瑛エコスポーツ実践会・一般社団法人美瑛町観光協会・美瑛町農業協同組合・美瑛町商工会・びえい白金温泉観光組合・町内自転車愛好団体	【取組内容】 ①丘のまちびえいセンチュリーライド事業 ②丘のまちびえいサイクルスタンラリー事業 ③丘のまちびえいスノーサイクルフェスティバル事業  【事業目的】 美瑛町の美しい農村景観の中で自転車で走る楽しさ、喜びを広く周知することで、健康増進と環境保全等の意識を向上し、サイクリングの普及を通して地球環境にやさしいエコスポーツ・地域スポーツの振興を図り、健康で明るい社会づくりと地域活性化を図る。
秋田県 大館市	<b>スポーツコミッション大館</b> 構成団体団体数13団体（委員数：13名）一般財団法人大館市体育協会一般財団法人大館市文教振興事業団スポーツクラブひいたしるスポーツクラブ大館商工会議所大館北秋商工会大館市身体障害者協会連合会一般社団法人大館市観光協会一般社団法人秋田犬ツーリズム株式会社北鹿新聞社秋北航空サービス株式会社ニューデジタルケーブル株式会社大館ケーブルテレビ大館市事業連携パートナー5団体ブラウブリック秋田秋田ノーザンハピネッツ秋田ノーザンプレッツRFCコネクスト株式会社株式会社アールビーズ事務局大館市観光交流スポーツ部スポーツ振興課（職員数10名）	【取組内容】 ①スポーツコミッション大館 多角化支援（スポーツ合宿・キャンプの誘致） ②スポーツコミッション大館 多角化支援（交流人口拡大を図るスポーツ教室・交流イベントの開催） ③スポーツコミッション大館 多角化支援（アウトドアアクティビティの創出） ④加藤友里恵氏によるトライアスロンスクール開催による地域活性化事業 ⑤銚子グルメリライド&ライドハンターズ ⑥キャンプ&サイクリングによる地域活性化事業  【事業目的】 ①合宿、キャンプの誘致により、交流人口と関係人口の拡大に取り組むとともに、合宿、キャンプの誘致を手段として、東北規模・全国規模の大会誘致に繋げ、地域経済の活性化を図ることを目的とする。 ②スポーツ教室開催や友好都市とのスポーツ交流により、スポーツインライフの推進とともに継続的な交流人口の拡大を目指す。また、様々な職業に就いているスポーツ愛好者との関係人口を拡大することで、教育、観光、産業においてもスポーツを通じた人とのつながりをビジネスのつながりに発展させ地域の活性化を推進する。 ③アウトドアスポーツツーリズムによる交流人口及び関係人口の拡大、経済波及による地域活性化を目指し、本事業による新規事業参入者や雇用創出を視野に入れた持続可能なビジネスプラン構築のための調査と検証を行い、持続可能なビジネスとして成立させるために必要な人材、施設設備、収入、インシャルコスト及びランニングコストを算出する。
茨城県 かすみがうら市	<b>かすみがうらアクティビティコミッション</b> かすみがうら市、かすみがうら市観光協会、(株)かすみがうら未来づくりカンパニー、(一社) ルーツ・スポーツ・ジャパン	【取組内容】 かすみがうらアクティビティコミッション推進事業  【事業目的】 令和2年度は、かすみがうら市の有する豊かな自然環境を活かしたアクティビティを創出したが、更なる発展的誘客を目指すうえでの3つの課題解決に取り組む。 ①「拠点の分散化」②「サイクリング愛好会以外の層への訴求」③「サイクリング以外のアウトドアスポーツの取組」
千葉県 銚子市	<b>銚子スポーツコミュニティー</b> 地元中小企業経営者個人が中心となり構成されています。正会員数：個人27名、法人3社賛助会員：法人9社地域スポーツコミッションとしての代表機能：NPO法人銚子スポーツコミュニティー（スポーツ庁の地域スポーツコミッション登録済）※2014年民間主導で設立し、銚子スポーツタウン事業への着手をきっかけに銚子市及び地元経済界、スポーツ界、教育機関等との連携を図るために銚子スポーツタウン協議会を設置。スポーツ合宿施設運営事業体として銚子市とNPO銚子スポーツコミュニティーが出資して「株式会社銚子スポーツタウン」を設立。	【取組内容】 名勝及び天然記念物「屏風ヶ浦」におけるマリンアクティビティの開発  【事業目的】 新しい生活様式にマッチしやすいマリンレジャーを切り口とした観光客の受入れ環境の整備を実施し、本市への観光客回復、市内消費の活性化を図ることを目的とする。

長野県 軽井沢町	<b>軽井沢カーリング活性化プロジェクト推進委員会</b>	【取組名称】 「カーリングの町・軽井沢」へ カーリングを軸とした地域活性化事業
	軽井沢町、軽井沢カーリングクラブ、総合型地域スポーツクラブNPO法人スポーツコミュニティ軽井沢クラブ	【事業目的】 ・「カーリングの町・軽井沢」の認知拡大と集客活性。 ・地域住民及び町内事業者のカーリングに対する理解浸透と関心拡大。 ・長野オリンピックレガシーの継承と持続。 ・未来を担うジュニア層のカーリングファン獲得。
長野県 長和町	<b>長和町スポーツコミッション</b>	【取組名称】 長和町スポーツコミッション
	長和町、長和町スポーツリゾート推進委員会、ブランシュたかやまスキーリゾート、エコパレースキー場、長和町商工会、霧ヶ峰・美ヶ原中央分水嶺トレイル運営部会、RUN&BEER NAGAWA実行委員会、プロスノーボーダー、信州・長和町観光協会より11名の委員と2名の事務局で構成しています。	【事業目的】 スポーツを通じて、地域の魅力を感じ、再発見し、交流人口の拡大を図り、スポーツ振興と地域経済の活性化することを目的とする。
静岡県 裾野市	<b>裾野市スポーツツーリズム推進協議会</b>	【取組名称】 ①スポーツ合宿誘致推進事業 ②誘客多角化推進事業
	<会員> NPO法人裾野市スポーツ協会、一般社団法人裾野市観光協会、裾野市商工会、裾野市旅館組合、株式会社ピカ、株式会社恋路企画、サカタのタネグリーンサービス(株) (指定管理者)、市内宿泊施設、裾野市陸上競技協会、富士山こどもの国、裾野市<顧問> 裾野市長、第一生命グループ女子陸上競技部山下佐知子監督<女子陸上競技部> 倉林俊彰監督<アドバイザー> 静岡大学教育学部 (スポーツプロモーション) 杉山康司教授日本大学短期大学部食物栄養学科篠原啓子准教授	【事業目的】 ①長距離陸上アスリートの合宿地としての認知度向上、他地域との差別化を図る。また、アスリートが合宿する地としてのメリットを生かした一般ランナーの誘致を展開し、スポーツツーリズム事業の経済効果を拡大する。 ②富士山麓の環境を生かすことができるトレイルランニングや東京2020オリンピック自転車競技ロードレースコースが通るまちとしての背景を生かしたサイクリストの誘客を図る。また、新たなスポーツによる振興に取り組むことで、スポーツツーリズム事業による経済波及効果の最大化を図る。
静岡県 御殿場市	<b>御殿場市スポーツタウン推進連絡会</b>	【取組名称】 ①東京オリンピック自転車ロードレースコースを活用した期間分散型キャンペーンの実施 ②期間分散型・エリア周遊サイクリングキャンペーン「ライドアラウンド」 ③「滞在型・フルサポートサイクリングツアーの造成」のためのプラン策定・モニター実施 ④サイクリスト・地域事業者のアンケート調査_ワークショップ
	(一社) 御殿場市観光協会、御殿場市商工会、NPO法人御殿場市体育協会	【事業目的】 ①「東京2020オリンピック自転車競技ロードレースコースがあるまち」の認知拡大、定着化。 ②サイクリング好適地の認知拡大、サイクリストのエリア周遊、サイクリング初心者層・ファミリー層への訴求。 ③サイクリストの宿泊と伴う滞在を生むこと、サイクリング初心者層・ファミリー層への訴求。 ④地域事業者とサイクリストからアンケート調査を行い、互いの溝を埋め「サイクリストにやさしいまち」として、双方の認知を拡大。

	<p><b>一般社団法人みえゴルフツーリズム推進機構</b></p>	<p>【取組名称】  ①「ゴルフ&amp;美食満喫ツアー」（仮題）ファミトリップ  ②ゴルフ体験会健康増進事業  ③ゴルフを活用したアウトター誘致事業</p> <p>【事業目的】  ①（当初）  ・ コロナ禍終息後、必ず回復が見込まれる訪日ツアー需要に備えるためにも、国内外の関係者のモチベーションの維持向上を図り、継続した情報発信や受け入れ体制の維持を図るとともに、コロナ禍を経て、ターゲットである海外のゴルファーたちの価値観が変容することも想定し、コロナ禍後の商品展開を検討する必要性が生じている。  ・ 新型コロナ感染症の対策は万全に講じた上で、ビジネス往来で入国可能な地域からインフルエンサーやツアーオペレーター等を招請し、ゴルフ&amp;美食デスティネーションをPRするファミトリップを開催し、コロナ禍終息後を見据えた情報発信や商品開発につなげるとともに、国内外の関係者同士のネットワーク維持やモチベーション強化を図る。  （変更後）  ・ 国境の往来緩和を見据え計画していたが、ファミ招請の対象者が参加する予定でもあったAsia Golf Tourism Convention 2022（2022年3月に宮崎県で開催予定であった。）が中止されるような感染状況であり、当事業も中止の判断を行った。  ・ それに代わる事業として、国内外のゴルフツーリズム関係者を対象としたオンラインセミナー「コロナ禍後のゴルフツーリズム」（仮称）の開催を検討。ゴルフツーリズム関係者のモチベーション向上とゴルフツアーの目的地としての日本及び三重に関心を寄せ続けてもらうことが狙いだったが、第6波の影響で日本側スピーカーの調整にめどが立たなかったため、実施に至らなかった。  ②（当初）  ・ お金持ちの娯楽としてゴルフを敬遠してきた層からも、コロナ禍の中、密を避けた屋外スポーツとして関心が高まっており、旧態然としたゴルフ場文化が若者や女性を遠ざけてきた懸念が残る中、せつかくの需要の高まりを確実に将来の顧客増につなげるためにも、ゴルフ場側やティーチングプロ等の関係者に対し、これまでのゴルフ場にはなかった異質なものに対する受容性の醸成を促していく必要がある。  ・ そこで、必ず1名は障がい者有する人々に参加してもらうゴルフ体験会を開催し、新たにゴルフに取り組もうとする障がい者の余暇の充実に取り組むとともに、障がいを持たない参加者にも、ともに同じスポーツに取り組むことで障がいや障がい者への理解を深めてもらうことにつなげる。また、新たにゴルフ場やティーチングプロに求められる障がい者への配慮は、多様なニーズを抱える訪日ゴルファーを柔軟に受け入れるようになることも期待されるため、コロナ禍終息後に回復が見込まれるインバウンドの受け入れ体制の強化にも活用する。  （変更後）  ・ コロナ禍により着手時期が計画より遅延したものの、3月上旬まで期間を延長するとともに、回数を9回に変更して実施する予定。  ・ 当機構のゴルフ場会員の自主性を尊重した初心者向けのプログラムとすることにより、ゴルフ場関係者の初心者への関心を高める効果も狙い。  ・ 障がい者のゴルフ体験会への参加については、事業実施期間の短縮により当事者団体との調整が難しくなったことから、当該年度は見送る予定。  ③（当初）  ・ コロナ禍の中、人々の働き方等についての価値観が多様化してきており、ワーケーションの選択肢の一つとしてのゴルフ場の魅力をPRし、当面の域外からの誘客につなげる。  ・ その他、これまでゴルフ以外の様々なスポーツを推進する団体と協力し、ゴルフ場及びその周辺をアウトドアフィットネス施設として活用し、新たな需要を掘り起こすことでまちづくりにつながるイベントを支援し、スポーツを通じたまちづくりの推進に寄与する。  ・ 上記の各取り組みを通じて、ゴルフ以外の目的でゴルフ場に来場したノンゴルファーが、来場経験を通じてゴルフに関心をもち、新たにゴルフを始めようと思うノンゴルファーの発掘につなげる。  （変更後）  ・ アウター誘致事業の参加者を呼び込むきっかけに位置付けていた「ゴルフトライアスロン」や「フィールドディスカバリーゲーム」といったイベントが三重県を避けて計画されたり、規模を縮小して実施されるなど、タイアップで予定していた事業の見直しを余儀なくされている。  ・ ワケーション体験会については、着手時期が計画より遅延したものの、3月上旬まで期間を延長するとともに回数を6回から2回に変更して実施する予定だった。当機構会員である旅行会社により、マイクロツーリズムの要素を盛り込んだワーケーションプランの開発及び実際の販売を目的とした体験会（モニターツアー）を企画したが、第6波の影響で実施に至らず、1回のみの実施となった。  ・ ワケーションセミナーについては、ワーケーション体験会に先立ち実施する予定だったが、事業の中核であった体験会の方を優先し、中止の判断を行った。</p>
<p><b>三重県</b></p>	<p>三重県観光連盟、三重県ゴルフ連盟、三重県商工会議所連合会、三重県、津市、志摩市、菟野町、ゴルフ場、宿泊事業者、観光事業者、交通事業者、旅行会社など61会員</p>	
	<p><b>一般社団法人土佐町スポーツコミッション</b></p>	<p>【取組名称】  競技カヌー及びパドルスポーツによるツーリズムの推進</p> <p>【事業目的】  スポーツを通じた地域活性化及び持続可能なまちづくりを実現していくためには、一般社団法人土佐町スポーツコミッションの運営や、さめうら湖をフィールドとした競技カヌー及びパドルスポーツ（SUP、カナディアンカヌー等）を中心とするアウトドアツーリズムの推進の取組が、可能な限り自律的かつ持続可能なものとなっていく必要がある。このため本取組では、これらの取組に係る新たな誘客や交流人口の拡大を目指す試行事業等を実施しながら、土佐町スポーツコミッションの自走化に向けた収益事業の確立を進めることを目的とする。同時に、本事業では、土佐町スポーツコミッションのこうした経営多角化に向けて、2021年度から2024年度までの事業計画の策定に取り組むことを目的とする。</p>
<p><b>高知県 土佐町</b></p>	<p>土佐町役場、土佐町Happinessスポーツクラブ（地域総合型スポーツクラブ）、NPO法人さめうらプロジェクト、NPO法人土佐さめうら観光協会、株式会社そらみる、土佐さめうら企業組合等</p>	

<p>熊本県 阿蘇市</p>	<p>阿蘇サイクルツーリズム学校「コギダス」協議会</p>	<p>【取組名称】</p> <p>①通年参加型サイクルコース利用イベントコンテンツの造成 ②専門ガイド養成 ③サイクルイベントの開催 ④阿蘇サイクルツーリズムフリーペーパーの統合保存版の発行 ⑤自転車専用公園の利用促進 ⑥サイクルコンテンツ造成・磨き上げ ⑦地域向け安全講習会の開催 ⑧地域スポーツコミッション事業計画の策定</p> <p>【事業目的】</p> <p>①（一社）ツール・スポーツ・ジャパンが運営する、全国連携サイクルツーリズム企画「サイクルボール」への参画により、通年型誘客サイクルイベントコンテンツを造成する。 「サイクルボール」は日本各地の名だたる「1周コース」を走破することで、1周につきひとつのインセンティブが与えられ、サイクリストに「日本各地のサイクリングコースへの横断参加」を促す仕掛けである。阿蘇1周コース“阿蘇イチ”を新たに設定し、「サイクルボール」に参画することで、サイクリストの目的地として阿蘇への来訪を促す。 加えて、密を避けるサイクリングイベントでありイベント開催期間中はいつでも参加できるコンテンツであることから、コロナ渦でも対応できる旅行商品としてイベント終了後もサイクリストにアプローチしやすく、地域への大きな経済効果を期待する。 ②阿蘇地域の草原は、国立公園であり長年にわたり地域が保全していた特別な場所であることから、草原についての正しい知見を備えたガイドにのみ活用を許可されている。当地域スポーツコミッションでは、この限られたガイドしか利用できない阿蘇の広大な草原を活用したサイクルコンテンツを商品化しており、今後もフィールドを適正に利用していくため、環境省や地元の管理組合、動植物の専門家等による講座やフィールド調査により草原や地域を正しく理解した人材を育成する。 また、来訪者に安全・安心で楽しいサイクリングを提供するガイド業を持続的な生業として確立するために、“地元の道を知っているサイクリスト”ではなく、プランニングからリスクマネジメントまで含めたツアーを提供できるプロのサイクルガイド育成を支援し、地域のブランド力向上やリピーター獲得につなげる。 ③プロのロードレースチームと連携したファンライドイベントを開催することで、地域住民に対してサイクリングの盛り上げを体感してもらう。また、サイクルツーリズムを浸透させるきっかけとすることで、地域への自転車活用を啓発する。併せて、宿泊を伴う参加者による経済効果、リピーター獲得にもつなげる。 ④地域スポーツコミッション設立以来、サイクリングコースや観光スポット、サイクルコンテンツ、地域のサイクリストなどの情報をフリーペーパーで発信してきた。これまで発行してきたフリーペーパーの情報を総括する統合版を作成し、地域のサイクルステーションや飲食店舗、県内外のサイクルショップ等に配架しサイクリストに情報を届けることで、サイクリングの目的地として阿蘇を選考してもらうことにつなげる。 ⑤地域におけるサイクルツーリズムを盛り上げるために、阿蘇に整備している自転車専用公園（マウンテンバイクパーク）の利用を促進し、自転車を活用した市内の賑わいを創出する。 子どもが自転車で遊ぶ楽しさを覚えてもらいながら体力低下防止にもつなげる地域向けイベントや自転車教室を実施する。 ⑥これまで販売実績のあるサイクルコンテンツの集客力、収益力を高めるため、周遊コンテンツへのe-bike導入や参画店舗の追加、周遊マップの作成、既存アクティビティの新しいフィールドの拡大等により、阿蘇で体験できる自転車遊びのブラッシュアップを図る。また、消費性向が高い女性やファミリー層をターゲットとした、新しいサイクルコンテンツ造成・商品化を行う。 ⑦自転車を活用した地域づくりを目指すうえで、「自転車が車両であること」、「歩行者の延長感覚で通行しないこと」等のソフト面の認知拡大が必要。日常的に自転車を利用する地域住民を含めたサイクリストに対する交通安全自転車講習会のイベントを自動車学校を利用して開催し、参加者への交通ルールの意識付けや運転技術の向上を図る。 ⑧阿蘇地域を訪れた人たちにこれまで以上に阿蘇を体感し楽しんでもらう「サイクルツーリズム」を推進し、観光客の増加や地域経済の活性化に寄与するため、今後、5年間のスポーツコミッションの事業計画を策定する。自転車の魅力を地域の人たちに伝え安全な乗り方などを啓発していくことで、自転車人口を増やし、健康な人づくりや自然環境に優しいサステナブルなまちづくりにつなげる。</p>
	<p>Nao's BASE阿蘇市経済部観光課南阿蘇村産業観光課環境省阿蘇くじゅう国立公園管理事務所くまもとDMC阿蘇ジオパーク推進協議会阿蘇市観光協会みなみあそ観光局南小国町観光協会高森町観光協会阿蘇青年会議所阿蘇市商工会青年部阿蘇ネイチャーランドASO田園空間博物館阿蘇テレワークセンターなみの高原やすらぎ交流館CLAMPWaku Waku OFFICE あそBe隊エスティ環境設計研究所火の山スポーツクラブ狩尾デザイン計21団体（オブザーバー） キリンビール株式会社九州総括本部</p>	
<p>沖縄県 沖縄市</p>	<p>一般社団法人沖縄市観光物産振興協会</p>	<p>【取組内容】</p> <p>沖縄市スポーツコミッション経営多角化プロジェクト</p>
	<p>沖縄市経済文化部観光スポーツ振興課・沖縄市スポーツ協会・教育機関・おきなわスポーツイノベーション協会株式会社等</p>	<p>【事業目的】</p> <p>スポーツを核とした観光振興・地域振興。 スポーツと地域観光資源を融合したスポーツツーリズムの推進。 大規模スポーツイベント開催に向けた受入体制の構築。</p>